2006年7月9日　（毎月18回1・3・5・6・7・9の日）通刊5015号　1983年7月19日　第3種郵便物認可　頒価50円　（1）

SSTK　　創刊号

さくら草だより

発行人　埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011　川口市元郷1-10-13
電話　048-225-1625

編集人　社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
電話　048-813-7426　Fax 048-886-6301

デイセンターさくら草

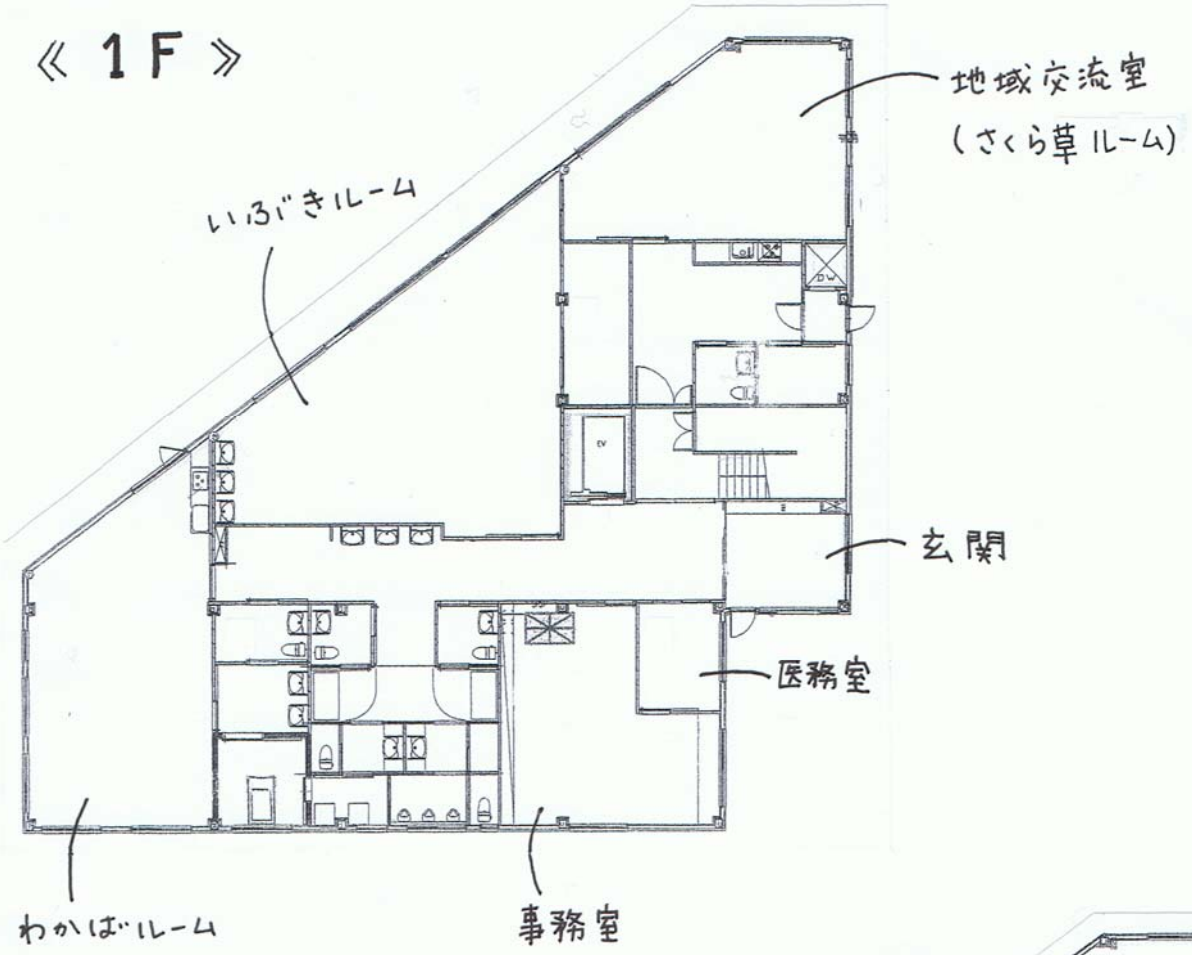
できたてさくら草

やわらかいスポンジに生クリーム、イチゴがのった『ショートケーキ』というスイーツは日本独自のケーキなんだそうです。ある人が「この建物ってショートケーキですよね！三角だし。黄色いしね。」と言っていました。なんとも優雅に例えていただいて、感嘆と同時にいい気持ちになってしまいました。

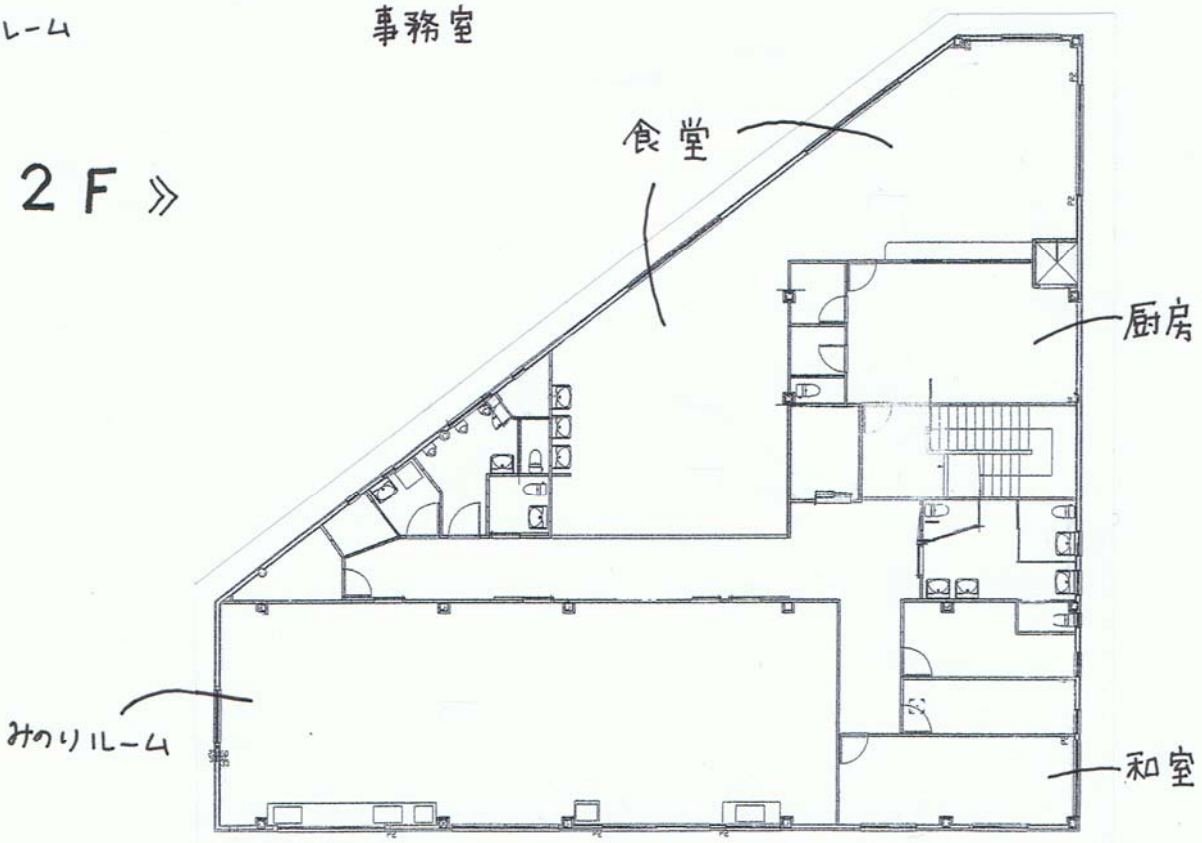
1F　地域交流室

デイセンターさくら草　館内間取り図

《1F》



《2F》



思えば２０年前、白幡の地に始まったのが“さいたま市（当時は浦和市）障がい者地域デイケア施設“デイセンターさくら草”です。そのデイセンターさくら草が地域の皆さまをはじめ、様々な方々に温められ、厚みを増しながら成長して今に至ることができました。そして、さくら草は、ご近所の方の篤い理解がありこの太田窪の地にやってきたのだと聞いています。

1Fわかばルーム

もはや、日本ではすっかりおなじみのショートケーキ。さくら草も早く地域になじんで、皆さんの舌をうならせていきたい。というのがさくら草グループの想いであります。
（野島）（写真：原勝朗）

2Fみのりルーム

1Fいぶきルーム

そのご協力にこたえるためにも、新さくら草（社会福祉法人さくら草）、はじめの一歩は外へ出ることなのです。外へ出て、さくら草メンバーの顔を覚えてもらうことからのスタートです。そう、写真の通り所内は木に包まれています。ボランティアさんやお客さんなどは「木の香りがいいですねぇ。」と頬を緩ませながらおっしゃいます。私たちはどんどん外へと出て行きます。皆さまはどんどん中へ入ってきてください。木の香りだけではなく、あたたかい新生さくら草がここにあります。

保護者さん手作り看板

後援会長就任にあたって

香川　スミ子

この度、ご縁があり社会福祉法人さくら草の後援会長の大役をお引き受けすることになりました。これまでに経験がなくお話があったときは大変躊躇いたしました。

しかし、私は長い間現場で仕事をし、障害のあるお子さんをお持ちのご両親に多くを学び、育てていただきました。そして、現在はさくら草と同じさいたま市にあります、浦和大学総合福祉学部で障害者福祉論や障害児療育論を講義し、社会福祉士養成のための実習教員としては主として知的障害者（児）領域を担当しております。そういった経緯も踏まえお引き受けすることにいたしました。

もとより微力ではありますが、少しでもお役に立てるように力を尽くしたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

我が国の福祉行政の現状には、誰もが不安を抱いております。殊に障害者自立支援法の成立による影響は、想像以上に障害児者を取り巻く状況を厳しくしています。この制度の中ではノーマライゼーションの真の理念は遠くにかすんでしまい、障害を持つひとりひとりが認められ大切にされることを困難にするようです。こういった施策に怒りの声を発することは大切なことですが、行政に振り回させずにしっかりと子どもたちを守り抜く力の結束が大切であることを、今更ながら強く感じております。

皆様とご相談しながら、楽しく息の長い活動を続けて参りましょう。

家族会発足

菅野　富子

家族の思いを集め、施設との連携を深めて、との願いをこめて家族会が発足しました。　法人施設として新たなスタートをしたさくら草、ワンルームでの二十年、広い場を願って立ち上げたはずでしたが、すべてよし、とはいかない現状です。

四月からの自立支援法の厳しいしめつけをもろに受け、制約の多い運営と利用者の応益負担、実費負担は予想以上でした。何のために認可施設にしたのか、との声も聞こえてきます。

先日二十年運営を担ってきたさくら草の会に幕を下ろしました。長きに渡る運営の最終決算で、グループホーム作り資金及び法人会計へ運営費として援助する事ができました。改めて親の会の協力と、支えて頂いた大勢の方々に心からのお礼を申し上げます。

旧さくら草もご破算となった今、家族会として新利用者の方々と同じスタートラインに立って施設の現状と将来を見つめ、活動して参りたいと思っております。

新施設が始動して二ヶ月になり、職員の手不足が大きな課題となっておりますが職員全員が旧さくら草からの優しさ温かさをそのままに、ベテラン揃いです。新しい皆様にも、さくら草の優しさを感じて頂いているかと思います。高齢の我々には今元気で通えることの幸せを思いながらも、親亡き後もさくら草で暮らしていけることを願っております。その目標に向かって家族会で協力し合っていけますようご協力をお願い申し上げます。

長年に渡りご支援下さいました皆様には、心苦しく思いながらも、どうぞ引き続きお力添え頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

デイセンターさくら草から

認可施設を開設してから早3ヶ月

現在 33 人が、3つのグループに分かれて活動している。デイケア施設のときより少ない比率の職員配置となってしまった。法人運営に掛かる経費、設置基準が要求した建物の維持費に反して、障害者自立支援法は日額制によって厳しい支援費となっている。大きな課題を背負ってのスタートとなった。

そんな中、職員はさくら草が大事にしている利用者1人ひとりに目を向け、1人ひとりを大切にした取り組みに専念している。新たな仲間との関係も深まり活動も軌道に乗り出した。これまでのように駅ビルに外出とはいかないが、徐々に外出や楽しみの機会を見つけては、生活にメリハリを持たせている。

陶芸を毎週に増やし、音楽療法も、音楽交流会も再開できた。理・美容師のヘアカットボランティアさんも続けて来ていただいている。元チコリの会の方もご近所さんもボランティアに見え始めている。

厳しい現状であるが、法人格を取得したさくら草を足がかりに前に進むことができる。日中活動の場である「デイセンターさくら草」だけではなく、地域で暮らすための居宅支援3事業所を法人運営とした。いろいろな福祉サービスと繋いだり、親亡き後に見守るために障がい者生活支援センターを、この春に同時に立ち上げることもできた。次は、暮らしの場であるケアホーム・グループホームだ。いよいよ地域福祉向上にむけた取り組みに拍車をかけていきたいと思う。

施設長　山本　宏

3グループ（班）の名前：そして、いぶき班

みのり班

みのり班（作業班）の年間計画（目標）は、≪さくら草の環境並びに生活習慣に慣れ友人と楽しく又協力して過ごすことができる。≫と言う事を基本に作業を覚え、出来れば最終的に≪安定した作業の量が出来、品質にも気をつける様になる！≫なんてカッコイイ事を思っていますが・・・

今は陶芸、紙すき、資源回収、ごみ捨てなどの作業を日中の活動としながら月1回音楽療法など他の班の活動に参加させて頂いております。

（　みのり班　近藤　）

★　女系？！わかば班　★

☆4月からワイワイガヤガヤとあっという間に2ヶ月が過ぎました。

わかば班のメンバーは利用者、職員合わせて14名。男性3人女性10 人という女系班です。どこの世界も女性は強い！そんなことを感じさせてくれる班です・・・。

始まった当初は、何をしようか？の連続でした・・・。しかし今では、「自分自身の時間は自分で・・・。」というスタイルが出来上がってきています。

これからもいろいろたのしい事、うれしい事を共有できる『わかば班』を作っていきたいです。

（　わかば班　赤松　）

いぶき班

利用者１２名、職員４名の『いぶき』班。全員が車イスという班です。他班のように会話こそありませんが、その名の通り呼吸での意思疎通となるわけです。それこそ深い呼吸が必要ないぶき班です。

活動内容としては、静的弛緩誘導法を中心に、生活に活かせる身体づくりを目標にしています。身体をつくって生かす場として、作業班の陶芸・ごみ拾い・紙すき・音楽に参加し、外出を通しての社会参加と定めています。どうぞよろしく。

（　いぶき班　野島　）

☆ ★ ☆新生さくら草　利用者あいさつ☆ ★ ☆

加藤智史
浦養を卒業し、さくら草に入所して、はや2ヶ月。毎日お仕事ちょっぴり、おしゃべりたっぷりで楽しく、すごしています。

河井浩介　2歳
S52.7.21生 AB型 ○に座
さくら草の新人です。
新鮮で前向きな気持で
毎日楽しく送っています。

川畑涼子
食べるの大好き
ディズニー大好き
元気印の涼子です

鈴木摩耶
幸せは、笑顔にのってやって来る!!
僕の笑顔は、ピカイチだぜ!!
お陰様という添え木に支えられていることを忘れずに、日々過ごしていきます。末永くよろしく……!!

目黒有起
めぐろゆうき
5月5日生まれの20才
です、よろしく!

N.K
私は、さくら草が白幡にあった頃からの仲間です。新しく仲間に加わった人達とも仲良くなれそうです。
よろしくお願いします!

平野亜紀子
4月から仲間に入れさせていただきました。
よろしくお願いいたします。

K.T
養護学校卒業し9年目にして、「新生さくら草」の1年生になりました。新しい環境に戸惑い不安な毎日でしたが、お休みする事無く頑張ってます。宜しくお願いします。

Mao

私らしく、ワガママに、しっかり「私」を生きています。皆さま、どうぞ宜しくお願いします。

豊島あずさ
今年 和光養護を卒業して友達 みんと来ました。
新しい友達もできて、毎日楽しく通っています。

蛭田心京
ぎゅうにゅうパックのはこをきっています。
これからがんばります。

中村信宏
紙すきをがんばってたくさんできるようになりました。

＜活動報告＞（18年4月1日～18年6月20日）

4月　12日　落成式・入所式
　　22日　誕生会（梅原・木内・佐藤・高橋・豊島・高木）
5月　12日　誕生会（天沼・丸山・目黒）
　　10日　家族会
　　24日　準備会解散式
　　25日　音楽交流会
6月　　2日　誕生会（中村・平野）
　　16日　法人施設指導監査
　　20日　音楽交流会

ヘアカット（理・美容）　通院介助
体重測定―毎月初旬　音楽療法―月1回
陶芸―週1回
健康診断―年2回
静的弛緩誘導法訓練会参加―月1回

新職員紹介

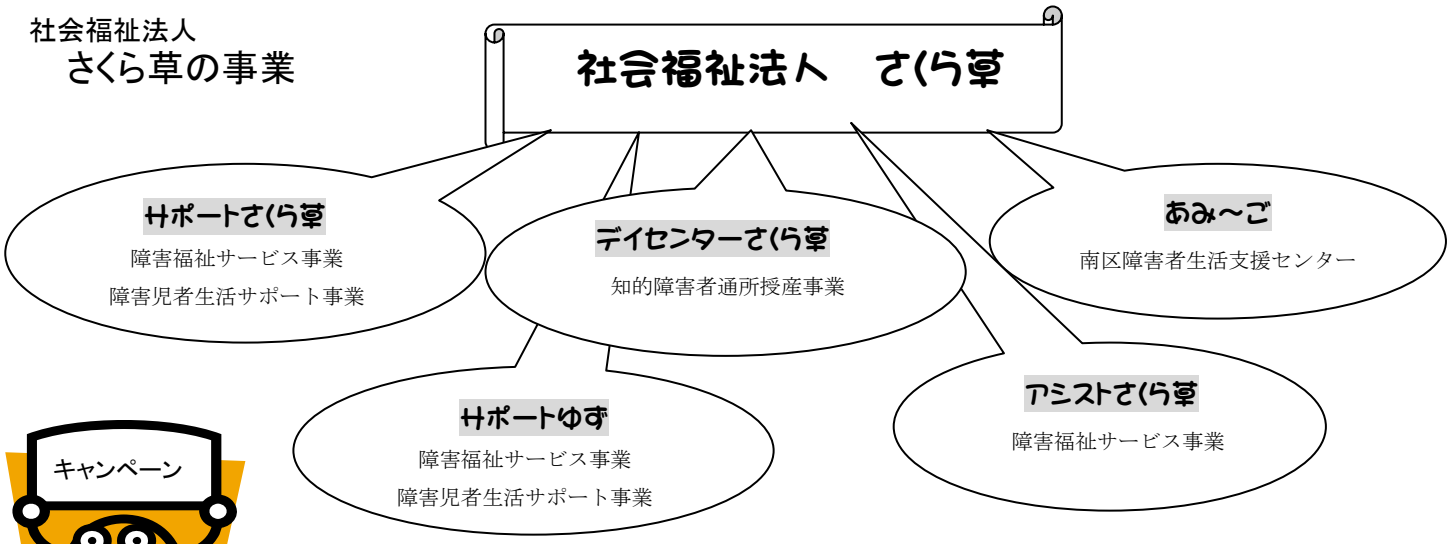
今年４月から職員として働かせて頂いております新人の近藤と申します。

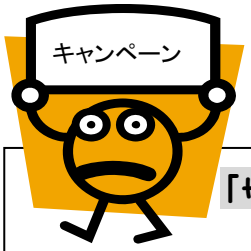
新人と申しましても昭和４２年生まれの３９歳！来年で４０歳になる「おじさん」です！

何のとり得もありませんが、利用者・保護者・職員皆さんの足手まといにならないよう頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願い致します。

『編集後記』
太田窪の地に越してきて　はや3ヵ月です。
ご近所のちやネコちゃんに　あたたかく見守って頂いて毎日過ごしています。（周辺に1ラネコちゃんが明いんですよ☺）これから夏本番☀
バテないように気をつけていきましょう。　（M.N）

社会福祉法人
さくら草の事業





「サポートさくら草」から

♪良い利用者になろう！
キャンペーン期間中です♪

サポートさくら草では、只今**「良い利用者になろう」キャンペーン**を展開中です。

良い利用者って何・・・？それはズバリ、物言う利用者（家族も可）です！介護時の対応を見て、「もうちょっとこうして欲しい」や「アレ？何か違う」と思った事があるはずです！そのときちゃんと、申し入れをしましたか？していないなら・・・、残念。良い利用者になりきれて居ません。「世話になっているのだから」や「預かってくれるだけでありがたい」と思っちゃダメです。

ご家族からたくさん教えてもらうことで、介護者個人も施設全体も成長します。「施設のためだ」と思い、心を鬼にして、たくさん改善点を教えてください。普段はなかなか言い出しにくいことでも、「キャンペーン期間中だから」と気軽に申し入れてください。

お陰さまで、さくら草は社会福祉法人としてスタートしました。しっかり大きくなった分、みなさんと少し距離が離れているのでは？と不安です。キャンペーンを利用し、申し入れて頂くことにより、話し合って理解しあっていきたいと思っています。好評でしたら、キャンペーンの継続も考えています。乞うご期待♪

「ゆず」から

自転車遊び、ぶらんこ、すべり台、おにごっこ、電車でゆられてお出かけ。活発な子供たちから学ぶことはたくさん。大人の視野なんて狭いもの。日々子供たちの純粋な目に感動し心の中を思い切りぶつけてくる新鮮さに驚く。そして、親御さんと一緒に子供たちの成長を喜び感じることができたら、私たちは幸せ。

また、成人の利用者さんとは、ゆったりと同じ時間を共有し、会話を楽しみ、私たちのほうが癒されている。

「ゆず」は、そんな人と人とのつながりを大切にしていきたい。

「あみ～ご」から

☆困ったときに電話一本で相談できるところです。
☆相談は無料です。
☆障害児とお母さんのための遊び場所「おもちゃ図書館あみ～ご」もできました。
☆ご家族・当事者・友人知人が気軽に集まっての愚痴や相談、茶飲み話の場としても使えます。
☆個人のプライバシーは守られます。

開所時間　月曜日～金曜日　9時30分～18時30分
相談受付時間　月曜日～金曜日　10時～17時

電話・Fax　048-866-5098
（武蔵浦和駅近く、元デイセンターさくら草跡地）

社会福祉法人さくら草後援会発足

天沼 律子

「どんなに重い障がいがあっても、その人らしく地域で暮らしつづけさせたい」の思いが、多くのあたたかい御支援の結集で福祉制度の変革に翻弄されながらも社会福祉法人さくら草の設立に至りました。またここで障害者自立支援法が施行され、厳しい現状下でのスタートとなりましたが、さくら草が目指す「障がい者の総合的な地域生活を支えるシステムづくりを通して、誰もが安心して暮らせる社会づくり」に積極的に取り組んでゆけるよう、私達は後援会設立を決意いたしました。しかしながら、後援会もスタートしたばかりで、まずは土台づくりから暗中模索、四苦八苦が現状です。多くの御支援を必要としています。一緒にさくら草に寄り添い、支え、応援して下さい。誰もが暮らしやすい街づくりに参加してみませんか。

家族会一年生

川畑　まり子

我が家の次女涼子が四月に開所したピカピカのデイセンターさくら草に通い始めて三ヶ月目になります。一年近くも待ち続けていた“仲間”との生活です。日々笑顔が多くなり、家族との会話に仲間の名前が、様子が。覗きに行きたいのに「私の居場所だから」と断られます。それなら私も、ここさくら草で新たな仲間を作ろうと思います。武蔵浦和の地で二十年という長い間、確かな活動をしてこられたお母様方のお仲間に入れて頂き、また新たに入られた方と集い、時間を共有できることは、娘と同様、居場所を得た満足感があります。娘との会話も弾みます。親子共この居場所を大切にしていかなければと思います。娘の笑顔に負けないよう私も楽しく活動していきたいと思っています。ただ娘も私もさくら草一年生です。わからないことだらけ、これからも宜しくお願い致します。

編集後記

２００６、春。やわらかな日差しはさくら草のわかばを笑わせて、並んださくら草のいぶきは豊かにサポート、その丘にはゆずがたわわにみのり、香り高くアシストす。そうだ、世界は皆あみ～ごなんだ！（M・N）